

若い女性のがんが増えています

婦人科検診

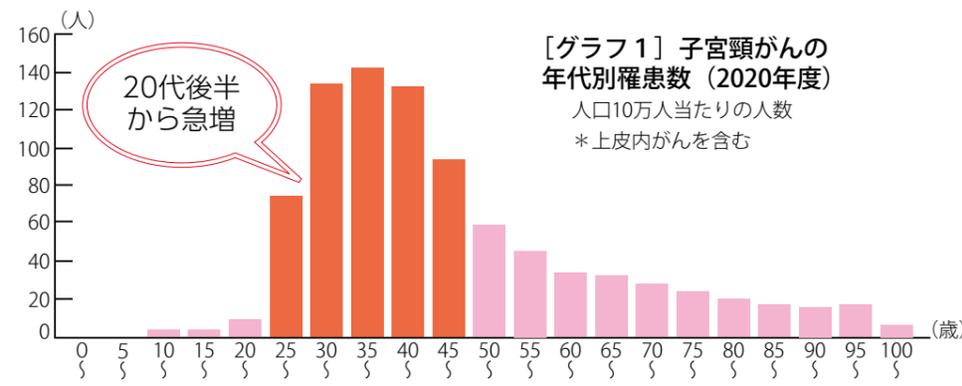
を受けましょう

20〜30代の若い女性に
増えている「子宮頸がん」

子宮頸がんは子宮の入口（子宮頸部）にできるがんで、性交渉によってヒトパピローマウイルス（HPV）が子宮頸部に感染することで発症します。HPVはごくありふれたウイルスで、多くの女性が一生に一度は感染するといわれています。感染をしても免疫により自然に排除されますが、一部の人では感染が続き、がんになります。

子宮頸がんの予防にはワクチン接種と検診が有効です。早期発見し適切に治療すれば、子宮頸がんの5年相対生存率（※）は90%以上です。しかし、早期のうちには自覚症状がほとんどないため、検診を受けることがとても大切になります。

※相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。



がんといえば、ある程度年齢を重ねてからというイメージがあるかもしれませんが、女性特有のがんは若年層化が進み、20〜40歳代でも発症するケースが増えています。「若いから大丈夫」「忙しくて時間がなくて検診を受けずにいると、大切な体の一部や機能を失い、命に関わることにもなりかねません。2年に1回は必ず検診を受けましょう。」

女性にとって身近な病気「乳がん」

乳がんは女性の約9人に1人がなると言われており、女性で最も多いがんで、毎年9万人以上が罹患しています。20歳過ぎから徐々に増え始め、40〜50歳代の子育てや仕事など一番忙しい時期にかかりやすい病気です。しかし、早期発見と適切な治療をすれば5年相対生存率（※）は95%以上です。

また、自分で気付くことができる可能性のある、数少ないがんです。日頃からブレスト・アウェアネスを心がけることで、早期発見や適切な治療につながります。

ブレスト・アウェアネスは、「乳房を意識する生活習慣」です。女性が乳房の状態に日頃から関心を持つことにより、乳房の変化を感じたら速やかに医師に相談するという正しい受診行動を身に付けましょう。

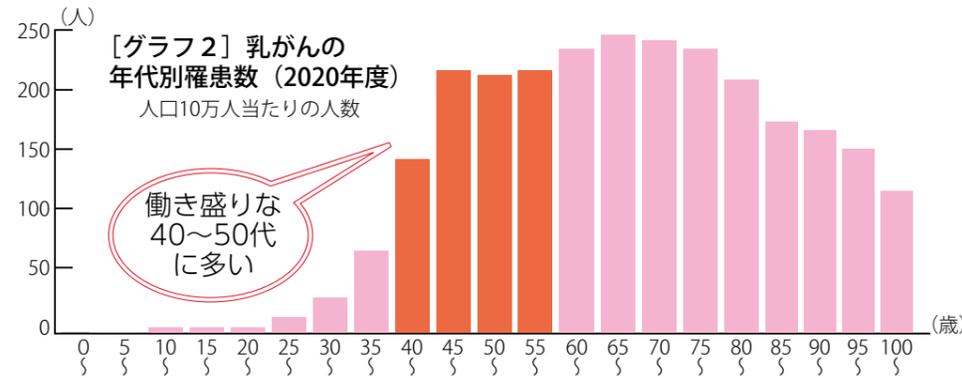
①自分の乳房の状態を知る
入浴や着替えの際に乳房を見て、触って、通常の状態を把握しましょう。

②乳房の変化に気を付ける
しこりを探すという意識は必要ありません。いつもと変わらぬかを確認しましょう。

▼変化のポイント
しこり、皮膚のくぼみや引きつれ、血液など乳頭からの分泌物

③変化に気付いたらすぐ医師（乳腺科）へ相談する

④40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける



婦人科検診について

たまには母娘で一緒に検診に行ってみるのもありかも？



受診券の送付について

【対象者】

- ▶令和5年度に市の婦人科検診を受診した人
- ▶令和6年度に未受診かつ25、30、35、45、50、55、60、65、70歳の人
- ▶令和6年度に未受診かつ健康推進課に令和7年度婦人科検診の受診希望の連絡をした人

無料クーポン券を配布します

【令和7年度対象者】

- ▶子宮頸がん＝平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ（20歳）
- ▶乳がん＝昭和59年4月2日～昭和60年4月1日生まれ（40歳）



申請フォーム

検診対象者は、下記の「検診内容」のとおりです。令和6年度に婦人科検診を受診しておらずお手元に受診券が届いていない人で、検診対象者に該当し今年度受診を希望する場合、申請フォーム（上の二次元コード）、もしくは健康推進課（☎0024）までお申し込みください。

検診会場 ※「子」＝子宮頸がん、「乳」＝乳がん（マンモグラフィ検査）、「骨」＝骨粗しょう症

実施機関	会場	子	乳	骨	受診可能日	予約方法	実施期間	オプション検査料金
聖隷予防検診センター（集団検診）	公民館、さざんか、相良保健センターなど（託児日程あり）	○	○	○	受診券の同封文書参照	WEB、ハガキ	8月～11月	▶乳がん検診エコー検査（3,850円） ▶骨粗しょう症検査（*）
榛原総合病院（個別検診）	榛原総合病院 南館6階健診センター（細江2887番地1）	○	○	×	申込時に問い合わせ（一部土曜日受診可能）	電話	12月20日 国まで	▶HPV検査（3,960円） ▶乳がん検診エコー検査（5,500円） ▶骨粗しょう症検査（4,840円）
あかほりクリニック（個別検診）	あかほりクリニック（片浜873番地2）	○	×	×	月～土曜日（木・土は午前のみ）	WEB、直接来院	12月26日 国まで	なし

*骨粗しょう症検診の対象年の人（令和7年3月31日時点で40、45、50、55、60、65、70歳の人）は、1,300円で受診可能です。それ以外の方は、2,750円です。

*検診の詳細な日程、場所、検査項目は、市ホームページまたは受診券の同封文書をご覧ください。

女性の総合がん検診と特定健診の同時受診可能日について

婦人科集団検診では、がん検診や特定検診を同日で受診できる日程があります。完全予約制で、全ての検診を約1時間で受診することができます。

受診可能な検診	日程	会場	申込期限
婦人科検診 +がん検診+特定健診	8月18日 国	相良保健センター	7月28日 国
	9月13日 国	さざんか	8月22日 国
婦人科検診 +がん検診	9月19日 国	い〜ら	8月29日 国
	11月17日 国	さざんか	10月27日 国

*人数に限りがありますので、希望する場合は早めに予約をしてください。

【検診内容】

	検診名	対象年齢（令和7年3月31日時点）	自己負担金
婦人科検診	乳がん検診（マンモグラフィ検査）（※1）	40歳以上で前年度に受診していない人	2,000円
	子宮頸がん検診	20歳以上で前年度に受診していない人	1,900円
	骨粗しょう症検診	40歳以上（※2）	1,300円
がん検診	胃がん検診	40歳以上	1,900円
	結核・肺がん検診	40歳以上	無料
	大腸がん検診	40歳以上	1,000円

※1 エコー検査はオプションで自己負担になります。対象は、令和7年3月31日時点で30〜39歳の人、40歳以上で前年度マンモグラフィ検査を受診した人、今年度マンモグラフィ検査と併用受診する人です。自己負担額は、実施機関によって異なります。詳しくは、受診券の同封文書をご確認ください。

※2 40、45、50、55、60、65、70歳以外の人で骨粗しょう症検診を希望の方は、乳がん検診または子宮頸がん検診の受診が必須です。

問い合わせ 健康推進課 近藤 ☎（23）0024